

継続の先にひらく あらたな未来

設立 20 周年を迎え、これまで培ってきたものを土台とし、先の 20 年を見すえた進むべき道を示す一年として取り組みたいと考えます。あらたに川上村において展開される「かわかみ源流ツーリズム」の主体となる「かわかみ源流グループ」の一員となって、さらに地域資源を守り、活かすことで、地域に活力をもたらし、持続可能な地域づくりを進めるための大切な役割を担うものと自覚します。

近年 ESD の取り組みの中で、『川上宣言』が教材としても評価されるようになりました。これまで交流を図ってきた団体等から、SDGs の視点でも『川上宣言』を評価する声が高まっています。このような背景のもと本財団では、人材育成・啓発、環境教育や ESD の展開、村内資源の調査・研究ならびに資源保全に重点をおいて活動をすすめてまいります。

一部展示リニューアルを終えた森と水の源流館ではこれまで以上に、源流を守る取り組み、吉野林業の特徴、流域のつながりの大切さをわかりやすく、深く伝えることができるようになります。これらを活用し、ますます環境学習と ESD の拠点として評価が高まるように、引き続き工夫ある活動を重ね、学校教育機関等との連携をさらに強め、教材化に取り組み、地域の価値が高まるよう努めてまいります。

公益事業Ⅰ 環境学習・体験プログラムの提供にかかわる事業

1. 「吉野川源流－水源地の森」体験プログラムの提供
 - ・ 定例水源地の森ツアー (3回)
 - ・ 団体毎の受け入れ (随時)
2. 森づくり体験プログラムの提供
 - ・ 源流学の森づくり (ボランティアにより 2 回程度)
 - ・ 関労かわかみの森活動等受け入れ (2回)
3. 体験学習を通じた環境教育の実施及び支援
 - ・ 団体毎のエコツアー受け入れ (随時)
 - ・ 学校教育団体支援 (随時)
 - ・ 森と水の源流館 ESD 授業づくりセミナー (近畿 ESD コンソーシアム)
4. 水源地域の環境保全にかかわる人材の育成
 - ・ 源流人会の運営
 - ・ 会員向け講座 (勉強会) の開催 (1 回)
 - ・ 川上村民グループの自主的な環境活動への支援 (適宜)

公益事業Ⅱ 流域交流・啓発にかかわる事業

1. 水源地域の自然及び文化を介した交流行事の実施
 - ・源流のつどい
(ボランティア体験、他地域の環境活動団体との交流)
2. 水源地の環境保全の普及啓発のための行事等の開催、印刷物等の刊行、
電子情報媒体の作成
 - ・流域連携・交流、啓発・PR (ESDの視点を強調 随時)
 - ・機関誌『ぼたり』刊行 (3回)
 - ・20周年記念イベント(4/29 リモート&11/16 フォーラム)
 - ・ホームページのリニューアル及びメンテナンス
 - ・森守募金活動

公益事業Ⅲ 源流域の自然や歴史の調査・研究にかかわる事業

1. 水源地域及び流域における参加型観察調査会の実施
 - ・吉野川紀の川しらべ隊 (4回)
 - ・旧白屋地区の生態調査と発信 (各季)
2. 「吉野川源流－水源地の森」自然実態調査の実施
 - ・水源地の森自然実態調査 (通年 水生生物)
 - ・水源地の森下層植生調査 (4回)
3. 源流部における斜面崩壊地での対策実態調査
 - ・シカ害防止柵や土留め柵設置箇所の観察

公益事業Ⅳ 拠点公共施設の管理・運営にかかわる業務

1. 展示を通じて情報発信を行う施設の管理
 - ・森と水の源流館管理 (通年)
 - ・企画展等の開催
 - ・リーフレットのリニューアル
2. 源流部での体験活動の拠点となる森とこれに附帯する施設の管理
 - ・水源地の森管理 (通年)
 - ・水源地の森交流施設管理 (通年)

収益事業Ⅰ ミュージアムショップ事業

- ・ミュージアムショップ事業 (通年)

収益事業Ⅱ 受託事業

- ・和歌山市民の森づくり (和歌山市)
- ・水のつながりプロジェクト (川上村)
- ・ESDの視点をいかした流域連携推進等業務 (川上村)
- ・東京海上日動火災株式会社 Green Gift 地球元気プログラム
(日本NPOセンター)
(いずれも予定)